

## 水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和6年8月8日
タイトル	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会 令和6年度 女性活躍推進会議 青森県で開催される
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原 星野 恵美子

令和6年7月18日、19日の二日間、青森県青森市内において、土地改良区の女性理事及び女性職員に対し、農業・農村についての意識をより一層深め、相互のネットワークを構成し更なる充実を図ることを目的として、東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会主催による「令和6年度 女性活躍推進会議」が開催されました。

18日には、基調講演として「女性が活躍するための覚悟と心構え 講師 那須野ヶ原土地改良区連合 専務理事星野恵美子」、講義として「誰もが持ち味を発揮して活躍できる社会へ NPO法人あおもり男女共同参画をすすめる会 理事長 篠崎有香氏」より、各々話題提供が行われ、その後、男女共同参画の取り組みについて各道県から次のような発表がありました。

- ① 女性の会への入会状況の報告
- ② 女性の会総会に併せ、会員の情報共有と知識の向上のため研修会の開催状況
- ③ 女性理事が誕生しているものの、依然として男社会からの脱却が難しく、真の男女共同参画が進んでいるとは言い難い。
- ④ 県土連では、女性理事登用を早期に実現し、女性理事の割合が16.7%と国の目標である10%を超えたものの、県内土地改良区の女性理事登用はわずかで、2025年度目標値に達するのは大きな乖離がある。
- ⑤ 女性理事登用に当たり、アンケート調査を行った、その結果、自発的に立候補する方がいない。役員報酬増等の理由により、役員・組合員からの理解が得られない。現職役員間で、登用への考え方が割れているなどの回答が寄せられ、進捗状況は、極めてスローなため、「令和6年度 農山漁村パートナーシップ推進宮城県大会」に参加し、更なる推進に努める。

など、様々な取り組みが発表されました。2025年度までに目標値を達成することは厳しい状況が続くものの、積極的な意見交換会の様子に遭遇して、各道県の関係組織が一丸となって男女共同参画の推進にご尽力されている姿を肌で感じる事が出来ました。19日には、大規模野菜の加工施設の見学や「南部裂織」の伝統工芸体験など盛沢山の研修となりました。大変活気のある会議の様子は、全国の土地改良区等における男女共同推進活動の大いなる参考となるものと存じます。

